

No.18 病院改革プラン改定事業 （西伯病院）

令和元年度にめざした姿(目的)

将来にわたり持続的な経営ができるよう、住民のニーズを踏まえ、時代に即した病院新改革プランの改定を進めます。

令和元年度にめざした成果

西伯病院新改革プランに定めた経営改善の推進状況を昨年度末「西伯病院のあり方協議会」に報告し、それを踏まえた「令和元年度 西伯病院の経営方針」を定めて健康長寿の町づくりを推進した。

令和元年度にめざした活動(主な取組み)

- ①医療スタッフの確保、チーム医療の推進、医療設備の整備、スタッフの教育・研鑽
- ②地域の医療・福祉の連携強化、在宅医療の推進、病床機能の検討、口腔ケアの推進
- ③健康増進に関する医療知識の普及・啓発、検診事業の推進、認知症予防、学校健診
- ④経営の健全化のための病院機能を検討、人材育成

令和元年度の成果

- ①医師の新規確保、19部門の目標共有、新型医療機器整備、教育・研鑽の推進
- ②在宅医療堅調、地域包括ケアまとめ役、歯科診療車稼働
- ③健康講座、口腔ケア・認知症予防など出かける啓発、学校保健
- ④介護療養病床転床検討委員会設置、急性期病床の回復期への一部転床、感染症対応

令和元年度の問題

- ・常勤医師の高齢化
- ・介護療養病床廃止後の更なる検討
- ・感染対策の一層の充実
- ・地域との連携強化

令和2年度以降の方策

(1) 達成できた事項をさらに伸ばす方策

- ・県派遣医師1名増によるより充実した医療の提供
- ・在宅支援事業、歯科診療車による出かける医療の提供
- ・医師を始めとする19部門の更なる連携
- ・経営コンサルタント継続活用

(2) 解決すべき問題への方策

- ・常勤医師の勤務年齢延長
- ・介護療養病床検討委員会継続
- ・感染対策設備の補強
- ・地域振興協議会単位の意見交換

(3) 新たに取り組む方策

- ・感染症対応の推進
- ・地域に根差した医療の推進

